

施策領域

3 住宅環境

町の基本方針

(達成していきたい状態)

松川町に住み続けたい(定住)・住んでみたい(移住)住環境の実現

重点的に取り組むにあたっての視点

- ①松川町の強みや魅力の再認識と認知拡大
- ②多様なニーズやライフスタイルに柔軟に対応できる住環境の整備
- ③地域内外の新しい「つながり」の構築と関係性を育む場の創出

想定する取組

(町の主な事業)	課
1 ターゲットごとに異なるアプローチの移住定住マーケティングの実践	まちづくり政策課
2 移住希望者のためのナビゲーターとワンストップ相談窓口の検討	まちづくり政策課
3 松川町東京事務所の設置検討	まちづくり政策課
4 空き家を活用した移住体験住宅の整備	まちづくり政策課
5 リニアでつながる都市間交流と二拠点活動の支援促進	まちづくり政策課
6 空き家対策コーディネーターの設置検討	まちづくり政策課
7 住宅リフォーム補助制度を活用した空き家改修支援	産業観光課 まちづくり政策課
8 空き家取得補助制度の検討	まちづくり政策課
9 若者定住住宅取得祝金制度の活用による定住支援	まちづくり政策課
10 地球温暖化対策事業と連携したゼロカーボン住宅取得の支援	まちづくり政策課
11 土地開発公社の活用による宅地分譲の推進	まちづくり政策課
12 シティプロモーションも含めた移住定住に関する情報発信の強化	まちづくり政策課

成果指標

(アンケートによる主観指標)

	現状値(2023)	目標値(2028)	考え方
自宅には、心地のいい居場所がある	80.0	80.0	維持
【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている	72.8	72.0	維持
私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる	51.6	53.9	上昇
私は、いま暮らしている地域にこれからも住み続けたい	78.5%	79.0%	維持

詳細について展開する関連個別計画等

松川町地域みらい共創プラン(第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略)リニアを見据えた北部まちづくり構想

(ウェルビーイング指標における客観指標のKPI測定主旨)

適度な価格で、十分な広さの居住空間を確保できるか?